

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	白川町	代表者名	佐伯正貴		
担当者部署	企画課企画係	連絡先電話番号	0574-72-1311		
担当者役職	主査	担当者氏名	鈴木元秀	連絡先E-mail	*****
住所	509-1192 岐阜県白川町河岐715番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	2回目の支援をいただきました。 町のDX推進計画の進捗状況と庁舎内DXについて、担当者や関係者との相談会という形式でご支援いただきました。 町全体の地域DXは、公共交通や地域通貨などアクションプランを作成している施策について、適切な助言をいただきました。 庁舎内DXについては、役場内の推進体制を構築するにあたり、幹部職員への啓発が重要との意識の元、12月に幹部職員と職員全体への再度研修を提案いただき、意識醸成はステージ0として繰り返し実施していく必要があることを再認識し、研修を計画するに至りました。 このように、町の担当者の悩みや相談に真摯に対応いただき、非常に心強いアドバイザーでいらっしゃいます。
アドバイザーへの要望事項	3回目の支援よろしくお願いたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年10月13日	支援・助言(実地)	有	令和5年7月24日	798
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年10月13日	支援・助言(実地)	9時30分	15時00分	60
				活動時間（分）	270
3-2. 派遣場所	会場名	白川町役場	最寄駅	JR高山線 白川口	
	所在地	岐阜県加茂郡白川町河岐715番地	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	役場企画課、庁舎内DX推進体制	12人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	町全体の地域DXについては、それぞれの推進体制によりアクションプランを現在計画している状況である。その中で、地域通貨と公共交通について、現在の問題点と課題を整理するにあたり、他自治体の事例や先進技術などの情報を必要としていた。 役場内の庁舎DXについては、推進体制を構築するにあたり担当課とサポート体制を決めた。体制を構築するにあたり役場内の問題点や推進計画を整理する必要がある。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	地域DXは、アクションプランの実効性や実現可能性を高めること。 庁舎内DXは、推進体制の構築と職員全体の意識醸成の土台の上に、役場の業務全体の効率化をデジタル化により実現する。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	9：30～12：00 美濃白川DX戦略の重点施策に挙げられている事業について、進捗をアドバイザーに報告し、現状と課題を共有した。課題について、他自治体の事例を紹介いただき実現性の注意点をアドバイスいただいた。屋前には、令和7年に移転を予定している新庁舎のオフィス環境について、担当者とともにこれからの働き方であったオフィス環境を先進自治体の紹介を含め助言いただく。 13：00～15：00 庁舎内DXについては、各担当者から問題点や日頃感じていることなどヒアリングし、課題抽出と整理を行った。また、課題から対策を検討するにあたり、アドバイザーによる職員研修が必要である認識に至った。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	地域DXについては、実効性のある取組に向けた他自治体の事例や先進技術など紹介いただき、町の課題にあった情報を入手することができた。 新庁舎に向けたオフィス環境整備については、豊島区役所時代の事例や、アドバイザーがこれまで支援してきた方法などネットワークやパソコン、什器等働きやすい環境整備に向けた助言をいただくことができた。 庁舎内DXは、ステージ0として職員への意識醸成が必要である共通認識のもと、12月の支援予定を幹部職員と一般職員向けの研修を実施することとなった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	12月に職員対象の業務の効率化とデジタル化に向けた講習会を実施いただくことになった。 引き続き、役場業務の効率化に向けてそれぞれの段階にあった支援をいただきたいと思います。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 担当職員への助言・支援であったので、定量的なアンケートを実施しなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	地域DXについては、各組織の自主性を尊重し地域活性化に向けて必要な支援を行っていく。 庁舎内DXについては、オフィス環境や業務の効率化をデジタルの力を借りながら実現していく。	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

